

岐阜県図書館協会

No. 50
令和4年3月

会報

事務局

〒500-8368

岐阜市宇佐4-2-1

岐阜県図書館内

電話(058)275-5111

岐阜県公共図書館協議会活動報告

本協議会では、県内の加盟館が連携し、図書館活動振興のための各種事業を行っている。

5月20日に公共図書館長トップセミナーを開催した。テーマ案は次のとおり。

テーマ1：「地域に役立つ図書館を実現する」

講師：豊田高広氏

(フルライトスペース株式会社特別研究員)

テーマ2：「電子図書館サービスあれこれ」

発表館：関市立図書館、各務原市立中央図書館、
岐阜県図書館

加盟館の館長及び職員40名(会場30名、オンライン10名)が参加し、地域をささえる図書館サービス、各館が導入している電子書籍サービスなどについて学んだ。

9月17日には職員研究集会を開催し、「地域の一員としての公共図書館を考える」をテーマに、伊東直登氏(松本大学図書館長・教授)から加盟館の職員59名が、行政支援サービスなどについてオンラインで学び、地域と図書館の関係などについて考える機会となった。

この他、加盟館共同事業として、4-5月に加盟館を巡る18歳以下限定のスタンプラリー「清流の国ぎふ・図書館スタンプラリー2021」を実施した。

また、加盟館共通テーマ資料展示として昨年度に引き続き「がん予防啓発」「多文化共生」をテーマに関連図書を展示した。また世界アルツハイマー月間に合わせた「認知症」のほか、「SDGs」についても展示を行った。(「がん予防啓発」「認知症」は10月、「多文化共生」は11月、「SDGs」は1月頃に各館で一斉展示。)

●県内公共図書館の動向

瑞浪市は2021年に開館50周年を迎えた。各務原市は開館30周年を記念して、「しおり配布」「謎解きライブラリー」「図書館を使った調べる学習講座」を開催した。岐阜市は7月に開館6周年イベント「おはなし会」「まちライブラリー」「謎解きラリー」を開催した。

新たな取り組みとしては、岐南町図書館は8月、土岐市図書館は11月に、wi-fi無料サービスを開始した。土岐市は7月から「ときし電子図書館」サービスを開始した。このほか本巣市、神戸町、輪之内町、大野町、美濃市は除菌装置を設置した。

各務原市、養老町、池田町、可児市は図書館システムの更新、各務原市、多治見市は図書館ホームページのリニューアルを行った。

●岐阜県図書館について

7月から9月にかけて、オリンピック・パラリンピックの開催を記念した展示を開催した。俳優で県図書館の名誉館長である紺野美沙子氏が聖火リレーで使用したトーチに触れる体験会や、元オリンピック選手の山脇恭二氏、空手家の若井敦子氏による講演会も行った。10月には鹿児島県との姉妹県盟約締結50周年を記念して、子ども向け講座及び企画展示を開催した。また、12月から1月にかけて、県と交流のあるベトナムのトゥアティエン＝フエ省を紹介するパネル展も開催した。令和元年度に導入した電子書籍(KinoDen)について、8月末から11月末まで約2万点を全文試し読みできるサービスを実施した。

(岐阜県公共図書館協議会事務局)

岐阜県大学図書館協議会活動報告

令和3年度、岐阜県大学図書館協議会として次の活動を行った。

- 第1回運営委員会（7月7日〈水〉書面表決）
- 第2回運営委員会（7月27日〈火〉書面表決）
- 総会（8月4日〈水〉書面表決）
- 講演会（12月22日〈水〉オンライン）

上記のいずれも、コロナ禍を踏まえ集合形式での開催を控え、電子メールまたはオンラインの形式で開催した。

総会では、会務報告の後、以下の項目について協議した。

- (1) 令和2年度決算（案）について
- (2) 研修会（講演会）（案）について
- (3) 令和4年度以降の研修会（講演会）について
- (4) 連携事業（案）について
- (5) 令和3年度予算（案）について
- (6) 事業計画（案）について

また、事前に募集した情報交換事項と、それらへ対する各加盟館の取組をとりまとめた資料を共有した。

- ・ 図書の除籍手続きについて
- ・ 受け入れしなかった寄贈図書について
- ・ コロナ禍における学外者の利用について

本協議会では、隔年の研修会（視察研修会）として、図書館に関係する先進事例の視察や大会への参加を行っており、令和3年度はその実施年度であったが、昨年度から引き続きコロナ禍を踏まえ、総会で協議の結果、それに代えての連携事業として、次のような“安全・安心な大学図書館”の広報と活動キャンペーンを実施することとした。

- ・ 加盟館で共有した感染症対策の情報（マスク着用や席の間引き、館内消毒等）を基に、それらを示すポスターを作成し、加盟館で掲示した。
- ・ 消毒液（手指消毒用）を加盟館に配布した。

12月には、岐阜県立看護大学と本協議会との共催で、同大学教授・橋本 麻由里先生による講演会「看護における情報のマネジメント」をオンラインで開催した。

講演では、看護に関する情報の収集・活用方法等について、専門の観点から詳細な解説があり、参加者は興味深く話に聞き入ると共に、図書館としてどのようなサポートができるか考える良い機会となった。

本協議会の今後の活動について、現時点では、従前のような集合形式での講演会や視察研修会の開催の見通しが困難であるが、適宜オンラインのツールも活用していくほか、大学図書館の振興のために、引き続き相互に連携を深める取組を積極的に検討し、進めていきたい。



↑作成したコロナ啓発ポスター

(岐阜県大学図書館協議会事務局)

岐阜県学校図書館協議会活動報告

岐阜県学校図書館協議会では、例年学校図書館の充実、発展を図るための研究会や研修会と、児童生徒の読書の振興を図るためのコンクールを行っている。しかし、残念ながら本年度も新型コロナウイルス

ス感染症の影響により、活動の自粛、中止をせざるを得ない状況となり、予定していた事業・活動を充分に行うことが叶わない1年となった。

☆研究会，研修会

(1) 第1回研究会及び代表者会

県内郡市の理事，代表者が集い，本年度の事業，活動の方針について説明，連絡する場として位置付けている。しかし，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止とし，各郡市の理事，代表者へ文書を送付することで文書提案とした。

(2) 夏季ゼミ

例年は，学校図書館教育に関する今日的課題をもとに，講話を行ったり，図書館施設を見学したりしている。

本年度は，第40回東海地区学校図書館研究大会を岐阜県での開催となったため，それを兼ねて実施することとなった。

この大会も感染症拡大防止対策のため，一堂に会して行うことが叶わなかったが，実践発表と講師による指導助言等を，期間を設けてオンデマンドで閲覧できるようにし，意義のある研修となった。

(3) 第2回研究会及び代表者会

本年度の事業，活動の報告と来年度の計画等を報告，説明する場として位置付けている。しかし，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，開催を中止とし，各郡市の理事・代表者へ文書を送付し，文書提案とした。

☆各種コンクール

①第53回図書館だよりコンクール

(高等学校)

②第67回読書感想文コンクール

(小，中，高等学校)

③第33回読書感想画コンクール

(小，中，高等学校)

昨年度の夏休み期間短縮により各種コンクールの応募数が大幅に減少するという状況となったが，本年度は，例年にこそ及ばないものの，十分な応募数で持ち直し，優れた作品が多く寄せられた。

岐阜県独自のコンクールとして実施してきた「図書館利用記録コンクール」は，応募総数の減少，参加校の偏りにより，事業の継続が困難となり，本年度より本コンクールは，取り止めとした。

今後は，豊かな情操を養い，教科横断的な指導が期待できる読書感想画コンクールを，さらに充実するよう啓発したい。また，電子図書等，タブレット活用による，幅広い読書活動の取り組みも考えていく必要がある。

(岐阜県学校図書館協議会事務局)

令和3年度事業報告

●図書館活動研究大会

ジャパンサーチの活用方法

(11月19日 33人参加)

2020年8月にジャパンサーチの正式版が公開されたことを受けて，研修テーマを「ジャパンサーチの活用方法」とし，講師には，国立国会図書館の高橋良平氏を迎えて実施を計画した。

当日の講演では，ジャパンサーチの概要や活用事例の解説のほか，ジャパンサーチのワークスペース機能を実践を交えながら説明を受けた。

参加者からは「ジャパンサーチは，聞いたことはあっても，具体的にどのように利用するのか分からなかったが，今回の講演を伺って活用の仕方が分かった」「実際にギャラリーやマイページを使ってその機能を分かりやすく説明していただき，とても勉強になった」等，大変有意義であったとの声が多く寄せられ，ジャパンサーチについての理解を深めることができた。

なお，新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ，講師とは中継を結んでオンラインでの講演をい

ただいた。受講方法としては、所属する図書館から Zoom を使用しオンラインで参加する方法と、会場(岐阜県図書館多目的ホール) でリモートの講義を視聴する方法を準備した。

●学校図書館職員対象研修会

学校図書館とICT教育

(10月7日 オンライン 71人参加)

専修大学の野口武悟氏にご講義いただいた。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講師とは中継を結んでオンラインでの講義をいただいた。受講方法としては、所属する図書館から Zoom を使用しオンラインで参加する方法を採った。

講義では、学校での ICT の現状や利活用の事例について具体的にご紹介いただき、学校図書館の今後の役割について改めて考えることができた。

参加者のアンケートからは、「これからの図書館の在り方、学校司書の在り方を考える機会になった」「学校図書館で活用できそうなデジタルコンテンツの紹介などがあり、大変参考になった」等の声が多く寄せられた。

●岐阜県図書館・岐阜大学図書館研修会

索引の知識と技術

(9月30日 岐阜大学 35名参加)

例年、岐阜県図書館、岐阜大学図書館と共催で行っている研修を今年度も共催で行うこととし、国立国会図書館の室山玲子氏に講師を依頼して開催した。

今回の研修会はオンラインで開催し、国立国会図書館が提供している各情報源の特長や、実際のレファレンスでの活用方法について、実例や演習問題を交えてご講演いただいた。

参加者のアンケートからは、「ツールの使い分けについてモヤモヤとしていたものが解消された」「具体的な事例により、どんな場合にどのようなツールが活用できるのかをわかり易くご教示いただいた」等、大変有意義だったという声が多く寄せられた。

●その他

・岐阜県図書館協会 理事会

6月18日 (書面表決)

・相互協力部会

1月20日 (オンライン開催) 情報交換等を実施

・資料発行 「会報」(50号) 令和4年3月

(岐阜県図書館協会事務局)